

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	国際交流事業	コード	05-02-01-01
		担当課・係	企画課企画振興係
		担当者	田原義大
事業実施期間	平成17年度～	電話	0869-64-1871
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり	
	中項目(基本施策)	ふれあい豊かなまちづくり	
	小項目(施策)	地域間・国際交流	

事業について	
目的 (何のために)	備前市と姉妹都市縁組をしている南オーストラリア州・クレア&ギルバートバレー町と文化交流協定を締結している韓国・蔚山市東区の青少年を備前市の家庭においてホームステイとして受け入れ、外国の方々とふれあいを通じて国際的感覚を養うことにより、国際理解、相互理解を深める。
対象 (誰・何を対象に)	【韓国】市内在住の小学生5・6年生、及びその受け入れ家庭の家族 【オーストラリア】市内在住の中学・高校生及びその受け入れ家庭の家族
内容	ホームステイとしての受け入れ。国際理解講座の実施。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
オーストラリア派遣人数	23人	-人	
オーストラリア受入関係者数	-人	143人	
韓国派遣人数	20人	-人	
韓国受入関係者数	112人	102人	
研修会実施回数	15回	2回	
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費
	直接事業費 7,748 人件費 4,790	間接補助金等 受給者負担 2,950 市債	直接事業費 1,497 人件費 3,230 受給者負担 0 市債
	合計 12,538	一般財源等 9,588	合計 4,727
	合計 0	一般財源等 0	合計 4,727
必要人員	0.65人	0.47人	
結果指標	結果指標名	オーストラリア派遣人数	オーストラリア受入関係者数
結果指標量	23	143	
対前年比			0.00%
活動にかかるコスト	5,776,666円	758,625円	
単位当たりコスト	251,159円	5,305円	
結果指標	結果指標名	韓国派遣人数 (受入関係者数)	韓国受入関係者数
結果指標量	20(84)	102	
対前年比			0.00%
活動にかかるコスト	1253440(718349)円	738,244円	
単位当たりコスト	62,672円	7,238円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	国際感覚を養うことにより国際理解を深める。		
成果指標名	国際理解度数(人数)	式又は説明	国際交流事業に参加した青少年・家族の国際理解度数 (人数/3月末人口×1,000)
	17年度	18年度	
成果指標量	1.04	6.02	
対前年比	-	-	0.00%
到達目標値	派遣1.1 受入7.0	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
目的達成度	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

オーストラリアとは姉妹縁組を韓国とは文化交流協定を締結しているため、本市が関与する必要があるが、今後は市国際交流協会が事業に深くかかわっていくべきであると考えられる。

派遣の年と受け入れの年で費用には差が生じる。派遣時には渡航費等がかかるが、ホームステイをすることで、経費を抑えている。派遣については個人学習的要素も強いことから、自己負担金の見直しを行いたい。受け入れ、派遣ともかなりの事務量が発生することから、文書管理、スケジュールのマニュアル化を推進していきたい。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 他との事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	派遣事業のみ実施予定である。
目標値	結果指標量	20	結果指標量
	成果指標量	1.05	20
総合評価			評価区分 <A-E> B
受入れの際のホームステイ先の確保には苦慮している。受入れ家庭は優先的に派遣することとして募集を行い、来年度行なう派遣事業と関連付けを行うことができた。これによりより深く相互国際理解が進むと考えられる。			

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	参加負担金の見直し	H19年度	経費節減